〃

土地改良施設耐震対策事業（用排水施設等整備）

県営緊急防災等工事変更計画書

県営緊急耐震工事計画書

〃

（　農業用用排水施設　）

県名	岩手県
地区名	後藤横川目
所在地	北上市
事業主体	岩手県

緊 急 防 災 等 工 事 計 画 書

― 目　　次 ―

第１章　　目　的 ･････････････････････････････ 1

第２章　　地域及び地積 ･････････････････････････････ 1

第１節　　地　域 ･････････････････････････････ 1

第２節　　地　積 ･････････････････････････････ 1

第３章　　現　況 ･････････････････････････････ 2

第１節　　気象及び海象 ･････････････････････････････ 2
１．一般気象 ･････････････････････････････ 2
２．特殊気象 ･････････････････････････････ 3
３．海　　象 ･････････････････････････････［該当なし］

第２節　　土地状況 ･････････････････････････････ 4
１．地形、土壌及び侵食の程度 ･････････････････ 4
２．土地分類 ･････････････････････････････［該当なし］
３．土地利用の状況 ･････････････････････････ 6
４．土地所有の状況 ･････････････････････････［ 略 ］

第３節　　水利状況 ･････････････････････････････ 7
１．用水状況 ･････････････････････････････ 7
２．排水状況 ･････････････････････････････［該当なし］
３．河川状況 ･････････････････････････････ 〃

第４節　　道路概況 ･････････････････････････････［該当なし］
１．道路概況 ･････････････････････････････ 〃
２．主要道路一覧表 ･････････････････････････ 〃

第５節　　地域農業の概況 ･････････････････････ 13
１．産業別就業人口 ･････････････････････････［ 略 ］
２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の
分散状況並びに専兼別農家数 ･･････ 〃
３．動力農機具及び主要家畜頭数 ･････････････［ 略 ］
４．主要作物作付状況 ･････････････････････ 16
５．農業の動向 ･････････････････････････････ 17

第６節　地域環境の概況 ･････････････････････････････ 17

第４章　　一般計画 ･････････････････････････････ 18

第１節　　事業計画の要旨 ･････････････････････ 18
１．要　旨 ･････････････････････････････ 18
２．事業別面積 ･････････････････････････････ 18

第２節　　営農計画及び土地利用計画 ･････････････［該当なし］
１．営農計画の概要 ･････････････････････････ 〃
２．土地利用区分 ･････････････････････････ 〃
３．作付方式 ･････････････････････････････ 〃
４．生産計画 ･････････････････････････････ 〃
５．労働改善計画 ･････････････････････････ 〃
６．級地別土地利用区分 ･････････････････････ 〃
７．土地配分計画 ･････････････････････････ 〃

第３節　　用水計画 ･････････････････････････ 21
１．計画基準年 ･････････････････････････････ 21
２．計画かんがい方式 ･････････････････････ 21
３．計画用水系統 ･････････････････････････ 21
４．計画用水量 ･････････････････････････････ 22
５．水源計画 ･････････････････････････････［該当なし］

第４節　　排水計画 ･････････････････････････ 〃
１．計画基準雨量 ･････････････････････････ 〃
２．計画排水方式 ･････････････････････････ 〃
３．計画排水系統 ･････････････････････････ 〃
４．計画排水量 ･････････････････････････････ 〃

５．　排水対策　……［該当なし］
６．　湛水検討　……　〃

第５節　道路計画　……［該当なし］
１．　道路及び索道　……　〃
２．　路線配置図　……　〃

第６節　農用地造成計画　……［該当なし］
１．　農用地造成計画　……　〃
２．　土壌改良　……　〃

第７節　洪水調節計画　……［該当なし］
１．　計画基準雨量　……　〃
２．　計画洪水量及び調節量　……　〃
３．　貯水池　……　〃
４．　洪水調節検討　……　〃
５．　管理計画　……　〃

第８節　干拓計画　……［該当なし］

第９節　農用地整備計画　……［該当なし］
１．　区画整理　……　〃
２．　暗渠排水　……　〃
３．　客土　……　〃
４．　農地保全　……　〃

第１０節　ため池改修計画　……［該当なし］
１．　洪水吐改修計画　……　〃
２．　堤体補強計画　……　〃
３．　取水施設改修計画　……　〃

第５章　主要工事計画　……　33

第１節　用水施設　……　33
１．　貯水池　……［該当なし］
２．　頭首工　……　〃
３．　揚水機　……　〃
４．　用水路　……　34
５．　その他かんがい施設　……［該当なし］

第２節　排水施設　……［該当なし］
１．　排水水門　……　〃
２．　排水機　……　〃
３．　排水路　……　〃
４．　その他排水施設　……　〃

第３節　道路及び索道　……［該当なし］
１．　道路　……　〃
２．　索道　……　〃

第４節　農用地造成　……［該当なし］
１．　農用地造成工　……　〃
２．　土壌改良　……　〃

第５節　洪水調節施設　……［該当なし］
１．　貯水地　……　〃
２．　頭首工及び導水路　……　〃

第６節　干拓施設　……［該当なし］
１．　堤防　……　〃
２．　潮止め　……　〃
３．　付属施設　……　〃
４．　埋立　……　〃

第７節　農用地整備施設　……［該当なし］
１．　区画整理　……　〃
２．　暗渠排水　……　〃
３．　客土　……　〃
４．　除礫　……　〃
５．　農地保全　……　〃

第８節　ため池改修施設　……［該当なし］
１．　貯水池　……　〃
２．　堤体補強施設　……　〃

第６章　附帯工事計画 ……［該当なし］

第７章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 43

第８章　環境との調和への配慮 …… 43

第９章　換地計画の概要 ……［該当なし］

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 ……　〃

第２節　換地区の設定 ……　〃
１．換地区の名称、所在、面積 ……　〃
２．換地区を設定する理由 ……　〃

第３節　換地計画樹立の基本方針 ……　〃
１．従前の土地の地積の基準 ……　〃
２．用途別予定地積 ……　〃
３．農用地集団化の方針 ……　〃
４．非農用地の換地方法 ……　〃

第４節　土地の評価及び清算の方法 ……　〃
１．評価の方法 ……　〃
２．清算の方法 ……　〃

第５節　換地計画樹立の年度計画 ……　〃

第６節　換地処分の時期に関する特則 ……　〃

第１０章　事業費の総額及び内訳 …… 47

第１１章　効　用 …… 48

第１２章　関連する事業 ……［該当なし］

第１３章　現況・計画図面 …… 49
１．計画概要図 …… 49
２．土地利用計画図 …… 49

上段：変更後
下段：変更前

第１章　　目　　的

〃

本施設は平成17年度に完成した管水路であるが、一部区間は、平成20年岩手・宮城内陸地震及び平成23年東日本大震災などの地震の影響が疑われる破損が発生し、道路に陥没等の被害が生じ、応急工事により復旧している。
管体には、カメラ調査の映像解析により補修が必要と判断された箇所が多数存在しており、現状のままでは、今後大地震が発生した場合、管破裂により民家及び幹線道路等への土砂流出・土砂堆砂・及び陥没、更には受益地への干ばつの被害などが発生する恐れがある。
よって、早急に管水路の耐震対策を実施する必要がある。

第２章　　地域及び地積

第１節　地　　域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
〃 土地改良施設耐震対策事業（用排水施設等整備）	〃 岩手県　北上市　和賀町　後藤

第２節　地　　積

〃

（令和元年５月現在）　（第２表）

事　　業　　名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
〃 土地改良施設耐震対策事業 （用排水施設等整備）	〃 北上市	〃 537.0					〃 537.0	
合　　計		〃 537.0					〃 537.0	

上段：変更後
下段：変更前

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一 般 気 象

（計画樹立参考資料 -雨量資料- 令和6年3月 岩手県農林水産部農村計画課）
（計画樹立参考資料 -雨量資料- 平成31年3月 岩手県農林水産部農村計画課）　（第３表－１）

観測所名	北上	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	H25年～R4年 H20年～H29年	5 月 ～ 8 月	9 月 ～ 4 月		
平均気温（℃）		略 ℃	略 ℃	略 ℃	
降水量	平均（mm）	591.7 560.6 mm	794.4 821.3 mm	1386.1 1381.9 mm	
	基準年（mm）	〃 － mm	〃 － mm	〃 — mm	
降水日数	平均（日）	45 44 日	95 101 日	140 145 日	
	基準年（日）	〃 － 日	〃 － 日	〃 － 日	
根雪期間		略 日間			
無霜期間		略 日間			
最多風向		略	最大風速 （風向）	略 m/s （　　）	最多風向発生時期　年 月 日 最大風速発生年月日　年 月 日

上段：変更後
下段：変更前

２．特殊気象

（計画樹立参考資料　-雨量資料-　令和6年3月　岩手県農林水産部農村計画課）
（計画樹立参考資料　-雨量資料-　平成31年3月　岩手県農林水産部農村計画課）　（第３表－２）

観測所名 北上	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 S30年～R4年 S30年～H29年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量（mm）	〃 213	〃 S57.8.30	1/135 1/122	〃 177	〃 S63.8.29	1/55 1/51	〃 169	〃 H13.8.1	1/45 1/42	〃 153	〃 H19.9.17	1/29 1/27	〃 145	〃 S62.8.17	1/23 1/21	
最大時間雨量（mm）	〃 65	〃 S57.8.30	1/533 1/360	〃 53	〃 S32.8.5	1/101 1/82	〃 43	〃 H19.5.31	1/25 1/23	〃 42.5	〃 H22.7.5	1/23 1/21	〃 42	〃 S57.8.30	1/21 1/20	
最大4時間雨量（mm）	〃 145	〃 S32.8.6	〃 －	〃 137	〃 S57.8.31	－ 1/667	〃 136	〃 S57.8.31	－ 1/620	〃 122	〃 S57.8.30	1/393 1/222	〃 96	〃 S57.8.31	1/42 1/33	
最大３日連続雨量（mm）	〃 261	〃 S57.8.31	1/119 1/106	〃 235	〃 S63.8.30	1/63 1/57	〃 228	〃 S63.8.29	1/53 1/48	〃 226	〃 S63.8.31	1/50 1/46	〃 218	〃 S57.8.30	1/41 1/38	
最大連続旱天日数（日）	〃 39	〃 S48.6.23	〃 －	〃 36	〃 H12.7.27	〃 －	〃 29	〃 H15.5.2	1/47 1/43	〃 27	〃 S53.7.12	1/21 1/20	〃 24	〃 H11.7.29	1/8 1/7	

３．海　　象

〃
該当なし

（第３表－３）

観測所名 観測期間 年　～　年	既往最高潮位（m）	さく望平均満潮位（m）	上下弦平均満潮位（m）	平均潮位（m）	上下弦平均干潮位（m）	さく望平均干潮位（m）	既往最低潮位（m）	備考
実測値								

上段：変更後
下段：変更前

第２節　　土　地　状　況

１．　地形、土壌及び侵食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高(m)	最低(m)	
										8°～	10°～	12°～						
用排水施設等整備	面積(ha)		〃 537.0				〃 537.0									〃 170	〃 112	
	比率(%)		〃 100				〃 100											
合計	面積(ha)		〃 537.0				〃 537.0											
	比率(%)		〃 100				〃 100											

（第４表－１－２）

項目 ＼ 土壌統（区）区分	土壌統（区）区分一覧表										面積(ha)		備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層黒泥層及びグライ層			農業用用排水施設	計	
					表土	下層土							
					一層	二層	三層						
〃 粘土火山腐食型	〃 黒褐	〃 富	〃 －	〃 有	〃 CL			〃 グライ無	〃 洪積	〃 火山灰	〃 37	〃 37	〃 H70
〃 地鉄盤層型	〃 黒	〃 富	〃 富	〃 無	〃 HC	〃 LiC		〃 グライ無	〃 洪積	〃 火山灰	〃 500	〃 500	〃 J90
計											〃 537.0	〃 537.0	

上段：変更後
下段：変更前

〃
該当なし

（第４表－１－３）

事業名	区　分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度		備　考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度位	大なる物	
	面積（ha）											
	比率（%）											

２．土地分類

〃
該当なし

（第４表－２－１）

級地別／市町村名	一級地	農用地造成										計	備　考
		二級地				三級地				四級地			
		※ (ha)	３°～８° (ha)	８°～１２° (ha)	１２°～１５° (ha)	※ (ha)	１５°～２０° (ha)	２０°～２５° (ha)	２５°～３０° (ha)	※ (ha)	３０°以上 (ha)	(ha)	
計													※は傾斜以外の要因によるもの

〃
該当なし

（第４表－２－２）

級地別／市町村名	干拓					備　考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

上段：変更後
下段：変更前

3．土地利用の状況

（令和　元 年 5 月現在）
（平成　29 年 11 月現在）　　（第４表－３）

事　業　名	土地利用別	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備　考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
〃 用排水施設等整　備	〃 北上市	〃 537.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 537.0	
合　　計		〃 537.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 537.0	

4．土地所有の状況　　〃　略　　－

（平成　31　年　4　月現在）　　（第４表－４）

事業名	所有別 / 区分	個人有						計	備　考
	面　積 (ha)								
	受益者数 (人)								
	筆　数 (筆)								
	権利関係								
	備　考 （関係戸数）								
合計	面　積 (ha)								
	受益者数 (人)								
	筆　数 (筆)								
	権利関係								
	備　考 （関係戸数）								

上段：変更後
下段：変更前

第３節　水 利 状 況

１．用 水 状 況

（１）　用水系統

〃
次ページ参照

（２）　用水施設

〃
第５表－１参照

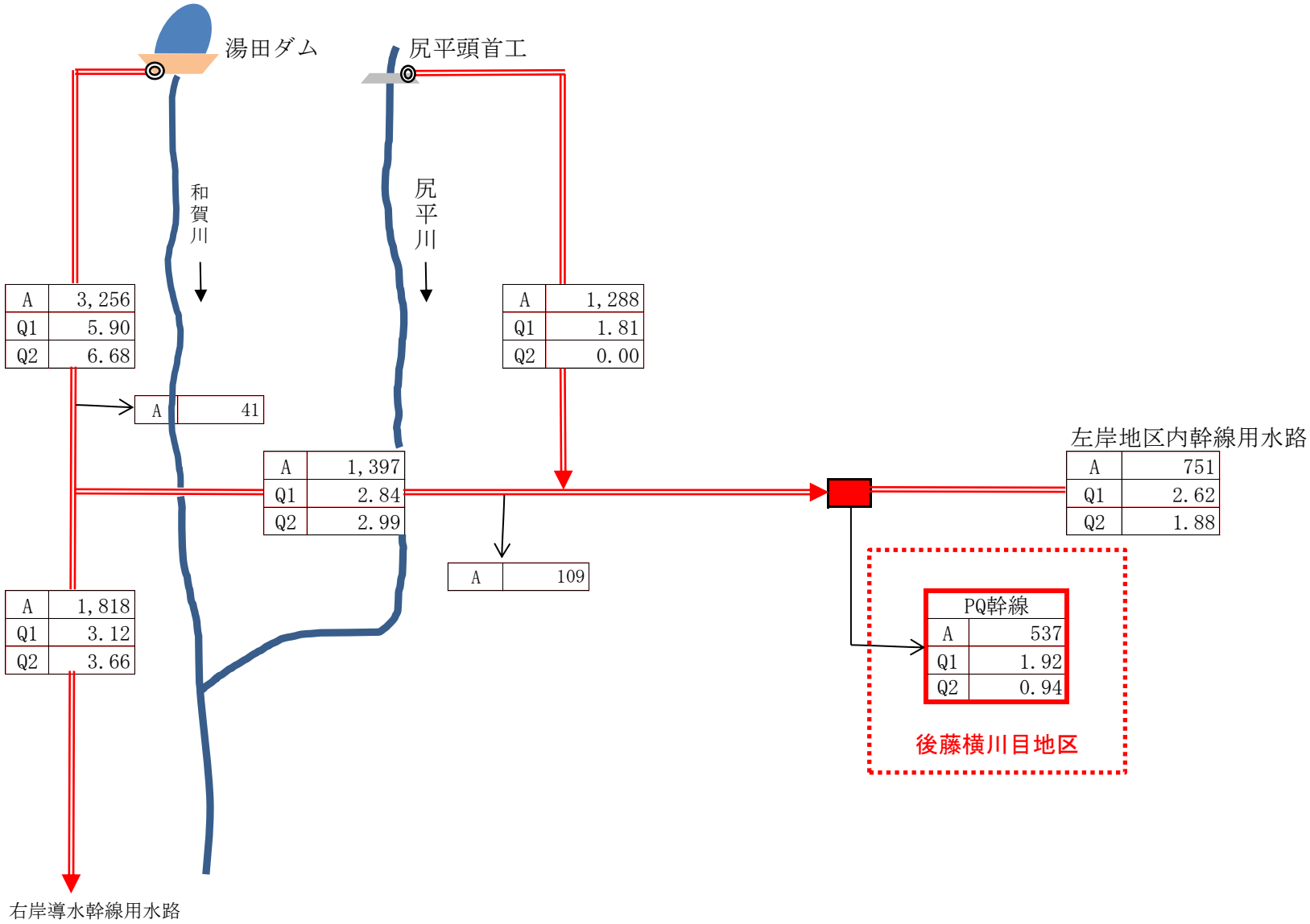
（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	かんがい面積 500ha以上 ha	かんがい面積 500～100ha 箇所	かんがい面積 500～100ha ha	かんがい面積 100ha未満 箇所	かんがい面積 100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	水利権 箇所	水利権 m^3/s	慣行水利権 箇所	慣行水利権 m^3/s	延べ取水量 m^3/s	備考
〃 用排水施設等整備	貯水池	〃 3	〃 1,908					〃 3	〃 1,908	〃 3	〃 6.1				
	井堰	〃 2	〃 1,427					〃 2	〃 1,427	〃 2	〃 4.5				
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	〃 5	〃 3,335					〃 5	〃 3,335	〃 5	〃 10.6				

現 況 計 画 用 水 系 統 模 式 図

変更前後同じ



路線系統名	
A	支配面積（ha）
Q1	代掻最終日（m3/s）
Q2	普通期最大（m3/S）

上段：変更後
下段：変更前

（イ）　改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構　造	規　模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備　考
〃 用排水施設等整備	貯水池							
	井　堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	km 9.4 7.4	〃 537.0	〃 管水路工	〃 φ250～1,200	〃 H17	〃 耐震対策	
	その他							
	計							
	貯水池							
	井　堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合　計		km 9.4 7.4	〃 537.0					

上段：変更後
下段：変更前

（３）　用水に関する被害状況

（ア）　用水不足による被害状況

〃
該当なし

（第５表－３－１）

事業名	項目／系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	作物名	減産量 (t)	

（イ）　その他の被害状況

〃
該当なし

（第５表－３－２）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温（℃）		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

上段：変更後
下段：変更前

（４） 用水管路破損の場合の想定被害状況

（第５表－３－３）

事業名	想定被害面積（ha）				想定被害額（千円）						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
〃 用排水施設等整備	〃 537.0			〃 537.0	〃 4,731,158	〃 59,200	〃 843,600	〃 9,720		〃 5,643,678	
合計	〃 537.0			〃 537.0	〃 4,731,158	〃 59,200	〃 843,600	〃 9,720		〃 5,643,678	

２． 排水状況

（１） 排水系統 〃該当なし

（２） 排水施設 〃該当なし

（ア）排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	項目／施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha以下 箇所	100ha以下 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行（m^3/s）	現況排水能力（m^3/s）	備考
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												

上段：変更後
下段：変更前

（イ）　改修を要する施設の一覧表　　〃 該当なし

（第５表－５）

事業名	施設名 ＼ 項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は	改修を必要	備考
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

（３）　排水に関する被害状況　　〃 該当なし

（第５表－６）

事業名	系統名 ＼ 項目	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m^3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
計			平均														
			基準年														

３．河川状況

（１）　河川の状況　　〃 該当なし

（第５表－７）

河川名 ＼ 項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考

（２）　洪水に関する被害状況　　〃 該当なし

（第５表－８）

区分 ＼ 項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

上段：変更後
下段：変更前

第４節 道 路 概 況

〃
１．道 路 概 況　　該当なし

〃
２．主 要 道 路 一 覧 表　　該当なし

（第６表）

No	路　線　名	管理区分別	延　長	幅　員　（m）		構　造	改修の要否	備　考
				全巾	有効			

第５節 地 域 農 業 の 概 況

〃
１．産業別就業人口　　略

—
岩手県統計年鑑（H26年版）　（第７表－１）

項目 ＼ 市町村名	総数（人）	農林漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	熱供給・水道業・電気・ガス（人）	情報通信業（人）	運輸業（人）	飲食店、卸売・小売業（人）	金融・保険業（人）	不動産業（人）	飲食店・宿泊業（人）	医療・福祉（人）	教育・学習支援業（人）	複合サービス業（人）	サービス業（人）	公務（人）	分類不能の産業（人）
計																		
比率（%）																		

〃

上段：変更後
下段：変更前

2．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼別農家数　　略

－

岩手県統計年鑑（H26年版）　（第７表－２）

区分 ＼ 市町村名	農家総戸数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸）												備考
		0.3ha未満	0.3ha～0.5ha	0.5ha～1.0ha	1.0ha～1.5ha	1.5ha～2.0ha	2.0ha～3.0ha	3.0ha～5.0ha	5.0ha～10.0ha	10ha以上	例外規定の適用を受けるもの			
比率（%）														

〃

2．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼別農家数　（つづき）　　略

－　　－

岩手農林水産統計年報（H25～H26年）　　岩手県統計年鑑（H26年版）　（第７表－２）

区分 ＼ 市町村名	農家総戸数（戸）	１戸当たり平均農業用地面積（ha）						耕地の分散状況		専兼業別農家数（戸）			備考
		田	畑	樹園地	小計	草地	計	１戸当たり団地数	団地当たり面積（a）	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
比率（%）													

上段：変更後
下段：変更前

3．動力農機具及び主要家畜頭数　　〃略　　―

岩手県統計年鑑（H26年版）　　（第７表－３）

項目 ＼ 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	トラクター耕運機		自動田植機		自脱コンバイン		動力防除機		肉用牛		乳用牛				
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）			
計															
100戸当たり数量（台、頭）															
利用戸数割合（%）															

農家戸数　　戸

上段：変更後
下段：変更前

4．主要作物作付状況

2020年農林業センサス
岩手県統計年鑑（H26年版）

（第７表－４）

市町村名			〃 北上市						計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積（ha）			8,331.0 6,650.0						8,331.0 6,650.0	8,331.0 6,650.0		
総本地面積（ha）			— 6,517.0						— 6,517.0	— 6,517.0		
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)		
田	〃 表作	〃 水稲	5,000 4,641	— 546					5,000 4,641	— 546	72.0 89.0	
田	転作 裏作	水稲以外 小麦	1,424 116	— 6					1,424 116	— 6	20.5 2.2	
田	小計		6,424 4,757	— 552					6,424 4,757	— 552	92.5 91.2	
畑	〃 春夏作	〃 野菜類	310 266	— 6,087					310 266	— 6,087	4.5 5.1	
畑	〃 秋冬作	〃 飼料等	205 107	— 3,970					205 107	— 3,970	2.9 2.1	
畑	小計		515 373	— 10,057					515 373	— 10,057	7.4 7.2	
樹園地	〃 りんご		— 80	— 2,200					— 80	— 2,200	— 1.5	
樹園地	〃 その他		4 5	— 66					4 5	— 66	0.1 0.1	
樹園地	小計		4 85	— 2,266					4 85	— 2,266	0.1 1.6	
計			6,943 5,215						6,943 5,215		〃 100.0	
市町村別延べ作付率（%）			83.3 78.4						83.3 100.0			

上段：変更後
下段：変更前

5．農 業 の 動 向

（第７表－５）

項目／区分	農家	B	A 現在	土地 地目	B	A 現在	主要作物 作物名	B	A 現在	主要家畜 家畜名	B	A 現在	動力農機具 農機具名	B	A 現在	地域指定等	備考
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	87 90	67 76	耕地	105 90	104 79	水稲	99 91	98 93	乳用牛	38 59	48 81	耕耘機 トラクター	91 70	－ 58		A：2020年 農林業センサス A：H26年度 岩手県統計年鑑 B：2015年 農林業センサス B：H17年度 岩手県統計年鑑 C：2010年 農林業センサス C：H 12年度 岩手県統計年鑑
	専業農家数	122 112	－ 115	田	105 100	104 81	小麦	171 11	230 222	肉用牛	117 87	－ 57	田植機	83 87	－ 71		
	第一種兼業農家数	67 103	－ 86	畑	100 78	96 58	大豆	119 87	144 134	豚	186 －	93 18	コンバイン	90 96	－ 81		
	第二種兼業農家数	77 81	－ 60	樹園地	89 82	92 78	野菜	111 94	161 －				― 動力防除機	－ 113	－ －		
				草地	129 81	159 146											
変化の理由	〃 農家数は減少しているが、専業化の傾向にある。			概ね横ばいであるが、草地は増加傾向にある。 草地以外の地目の農地が減少傾向にある。			〃 転作により、小麦、大豆等の増加が著しい。			畜産農家が減少している。 乳用牛が増加している。			― 機械大型化の傾向にある。				

第６節　地 域 環 境 の 概 況

〃

当地区の幹線水路は、後藤地域の主要地方道花巻衣川線東側に位置し、昭和40年代に築造後、平成10年代にパイプライン化され、水田約537haを灌漑している。地区周辺は農地のほか、森林や河川に囲まれており、岩手県レッドデータブックＢランクの種が生息している。
また、奥羽山脈を源とする和賀川や尻平川沿いに展開する水と緑豊かな自然に恵まれた美しい田園風景が広がっている。

上段：変更後
下段：変更前

第４章　　一　般　計　画

第１節　事 業 計 画 の 要 旨

１．要　旨

L=9.4km
ア）農業用排水事業（用水路）　用水管路延長L=7.4kmにおける耐震対策として、基礎材を支持力の高い材料等により施工する。

２．事 業 別 面 積

（第８表）

事 業 名	〃 用排水施設等整備													計	備　　考
土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
〃 用水改良	〃 537.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 537.0							〃 537.0	
計	〃 537.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 537.0							〃 537.0	

第２節　営農計画及び土地利用計画

〃
該当なし

１．営農計画の概要

〃
該当なし

2．土地利用区分

上段：変更後
下段：変更前

〃
該当なし

（第９表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)			小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	現況														
	計画														
	現況														
	計画														
計	現況														
	計画														

3．作付方式

〃
該当なし

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	現況																											
	計画																											

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	3年目												4年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	現況																											
	計画																											

○ 播種　△ 移植　□ 収穫　× 接木　● 定植

上段：変更後
下段：変更前

4．生 産 計 画

〃
該当なし

（第９表－３）

事業名	項目 / 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg／10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加	
	水田	表作															
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
	計																
合計																	

5．労 働 改 善 計 画

〃
該当なし

（第９表－４）

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a）				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
	計							
合計								

上段：変更後
下段：変更前

6．級地別土地利用区分

〃
該当なし

（第９表－５）

土地利用区分＼区分・級地名		農用地造成（ha）					干　拓（ha）					備　　考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑　園）											
そ　の　他												
計												

7．土地配分計画

〃
該当なし

（第９表－６）

項目＼区分	配分戸数（戸）	地　目　配　分　計　画　（ha）								備　　考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反										
入植										

第３節　用　水　計　画

1．計画基準年

〃
昭和35年（和賀中部地区の計画変更時の計画基準年に準じる）

2．計画かんがい方式

〃
パイプライン方式（代掻期５月15日～５月29日　普通期５月30日～９月６日）

3．計画用水系統

〃
P8「現況計画用水系統模式図」のとおり

4．計画用水量

上段：変更後
下段：変更前

（1） かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 用排水施設等整備	面積（ha） 事業名 計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量（mm/日）	水田かんがい 代かき期 計画代掻単位用水量（mm）	水田かんがい 面積（ha）	水田畑利用 一日当り計画平均かん水深（mm/日）	水田畑利用 平均間断日数（日）	水田畑利用 面積（ha）	畑地かんがい 一日当り計画平均かん水深（mm/日）	畑地かんがい 平均間断日数（日）	畑地かんがい 面積（ha）	その他 計画平均単位用水量（mm/日）	その他 面積（ha）	消費水量（m^3/日）	損失率（%）	粗用水量 平均（m^3/日）	粗用水量 最大（m^3/日）	備考
〃 幹線用水路	〃 農水	〃 537	〃 537	〃 21	〃 124	〃 537									〃 1.584	〃 10	〃 1.416	〃 1.920	
計		〃 537	〃 537	〃 21	〃 124	〃 537									〃 1.584	〃 10	〃 1.416	〃 1.920	

（2） 営農飲雑用水

〃
該当なし

（第１０表－１－２）

区分	利用目的	対象面積（ha） 事業名		計	日当たり給水量 単位給水量（1/日）	日当たり給水量 最大給水量（1/日）	補給回数（回）	関係戸数（戸）	備考
飲用水	飲用								
雑用水	洗浄								
	家畜								
計	給水量								

5．水源計画

（1） 水利用計画

〃
該当なし

（第１０表－２）

項目 / 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量 水源名	現況利用可能水量 取水地の利用可能量	現況利用可能水量 ほ場利用可能量	不足水量 純不足水量	不足水量 全不足水量	水源依存量 水源名	水源依存量 水量	水源工種	備考
	a （千m^3）	b （千m^3）	c=a−b （千m^3）	d=c/(1−α) （千m^3）		e （千m^3）	f （千m^3）	g=c−f （千m^3）	h=d−e （千m^3）		（千m^3）		損失率：α0.10
計													

（２）　用水対策

上段：変更後
下段：変更前

（ア）　貯　水　池

〃
該当なし

（第１０表－３）

項　目 / 貯水池名	流域面積（km²）		かんがい面積（ha）			純貯水量	利用貯水量	利用回数	最大取水量	備　考
			事　業　名							
	直　接	間　接			計	（千m³）	（千m³）	（回）	（m³／s）	

（イ）　井堰及び自然取入口

〃
該当なし

（第１０表－４）

項　目 / 取水施設名	河　川　名	流域面積	かんがい面積（ha）			取水量（m3/s）		渇水量	備　考
			事　業　名						
		（km²）			計	最　大	平　均	（m³/s）	

（ウ）　揚　水　機

〃
該当なし

（第１０表－５）

項　目 / 名　称	水源名	かんがい面積（ha）		所要水量（m³/s）		揚　水　機				備　考
		事　業　名								
			計	最　大（m³/s）	平　均（m³/s）	実揚程（m）	揚水量（m³/s）	台　数（台）	全揚水量（m³/s）	

（エ）　用　水　路

〃
該当なし

（第１０表－６）

項　目 / 名　称	かんがい面積（ha）			最大通水量	延　長	構　造	備　考
	事　業　名						
			計	（m³/s）	（km）		

上段：変更後
下段：変更前

（オ）　その他の水源施設

〃
該当なし

（３）　水 温 水 質

〃
該当なし

第４節　排　水　計　画

１．計画基準雨量

〃
該当なし

２．計画排水方式

〃
該当なし

３．計画排水系統

〃
該当なし

４．計画排水量

〃
該当なし

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受域面積（ha）		流域面積		基準雨量	雨量による直接単位流出量		基底流出量		全排水量（m^3/s）			単位排水量		備考
	事業名		（km^2）			（$m^3/s/km^2$）		（$m^3/s/km^2$）		山地	平地		（$m^3/s/km^2$）		
		計	山地	平地	（mm）	山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
計															

上段：変更後
下段：変更前

5．排水対策

（1） 排水水門

〃
該当なし

（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受域面積（ha） 事業名		計	計画 排水量 (m³/s)	計画 地区内たん水深 (m)	排水本川 名称	計画排水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
計										

（2） 排水機

〃
該当なし

（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積（ha） 事業名		計	計画排水量 排水量 (m³/s)	計画排水量 地区内たん水深 (m)	排水機 実揚程 (m)	排水機 排水量 (m³/s)	排水機 台数 (台)	排水機 全排水量 (m³/s)	備考
計											

（3） 排水路

〃
該当なし

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積（ha） 事業名		計	計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
計											

（4） その他

〃
該当なし

6．湛水検討

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第５節　道　路　計　画

１．道路及び索道

（１）　道　路

〃
該当なし

（第１２表－１）

項　目 路 線 名	幅（有効）×延長 （m）　（km）	構　　造	既設道路との関係	備　　考
計				

（２）　索　道

〃
該当なし

（第１２表－２）

項　目 路 線 名	能　　力（t/hr）	延　　長　（m）	接 続 道 路 名	備　　考

２．路線配置図

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第６節　農用地造成計画

１．農用地造成計画

（１）　農用地造成計画　　〃
該当なし

（第１３表－１）

項　目 土地利用区分	主要作目	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備　　考

（２）　末端道水路配置図　　〃
該当なし

２．土壌改良　　〃
該当なし

（第１３表－２）

項　目 地目名	面　積 (ha)	土　壌 統（区）名	ｐＨ		置換酸度 （Ｙ１）	りん酸吸収係　数 (mg/100g)	ha当たり所要量（ｔ/ha）			備　　考
			H_2O	ＫＣＩ			石　灰 （ｔ）	燐酸質材 （ｔ）	有機質材 （ｔ）	

第７節　洪水調節計画

１．計画基準雨量

〃
該当なし

２．計画洪水量及び調節量

〃
該当なし

（第１４表－１）

地　点	流域面積 (km^2)	洪水到達時　間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	最大調節量 (m^3/s)

３．貯　水　池

〃
該当なし

（第１４表－２）

項目／貯水池名	流域面積 (km^2)		計画洪水量 (m^3/s)	貯水量 (千m^3)			計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備　考
	直　接 (km^2)	間　接 (km^2)		有　効 (千m^3)	洪水調節容量 (千m^3)	他目的 (千m^3)			

４．洪水調節検討

（１）　河川改修計画との関係

〃
該当なし

（２）　洪水調節が下流に及ぼす影響

〃
該当なし

（３）　計画基準雨量以外の降雨についての検討

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

5．管理計画

（1）　管理機構

〃
該当なし

（2）　ダム管理操作上の各種基準

〃
該当なし

（3）　洪水調節要領

〃
該当なし

第８節　干 拓 計 画

〃
該当なし

（第１５表）

項目／名称	延　長（m）	計画高潮（水）位（T．P．m）	風向及び対岸距離（km）	風　速（m/s）	気　圧（mb）	備　考

第９節　農用地整備計画

1．区画整理

（1）　区画の形状

〃
該当なし

（第１６表－１）

長辺　×　短辺（m）	区画面積（ha）	全体面積（ha）	割　合（%）	田 面 差（m）	備　考
計					

上段：変更後
下段：変更前

（２）　表土扱い　　〃
該当なし

（第１６表－２）

面　積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱い深 (cm)	土　量 (m3)	備　考

（３）　末端道水路配置図　　〃
該当なし

２．暗渠排水

（１）　暗渠排水　　〃
該当なし

（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名		土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ﾘｯﾄﾙ/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備　考
		計						
計								

（２）　心土破砕　　〃
該当なし

（第１６表－３－２）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名			土壌統（区）名	土壌硬度	備　考
			計			
計						

上段：変更後
下段：変更前

3．客　土

〃
該当なし

（第１６表－４）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統（区）名	減水深（mm/日）		作土の厚さ（m）		10a当たり客土量（m3）	土壌の性質		備考
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地（%）	採土地（客土材料）（%）	
計												

4．農地保全

（1）　防災林

〃
該当なし

（第１６表－５－１）

項目 / 区分	最大風速（m/s）	幅（m）	間隔（m）	備考

（2）　排水工

〃
該当なし

（第１６表－５－２）

項目 / 区分	基準雨量（mm）	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量（m^3/s/ha）	全排水量（m^3/s）	

（3）　侵食（崩壊）防止工

〃
該当なし

項目 / 施設名	位置	支配面積（ha）	機能	備考

第１０節　　ため池改修計画

１.洪水吐改修計画

〃

該当なし

２.堤体補強計画

〃

該当なし

３.取水施設改修計画

〃

該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第５章 主 要 工 事 計 画

第１節　用水施設

１．貯水池

〃
該当なし

（第１７表－１）

名　称				位　置						備　　考
堤　体	型　式	流域面積（km^2）		堤　高（m）	堤　長（m）	堤体積（m^3）	基礎地盤地　質	貯　水　量（m^3）		
		直　接	間　接					総貯水量	有効貯水量	
余水吐	型　式	洪水量（m^3/ｓ）	備　考	取水施設	型　式	取水量（m^3/ｓ）	放流施設	型　式	放流量（m^3/ｓ）	

２．頭首工

〃
該当なし

（第１７表－２）

名　　称				位　　置				備　　考
型　　式	堤　高（m）	堤　長　（m）			取水位（m）	取水量（m^3/ｓ）	付帯施設	
		固定部	可動堰	計				

３．揚水機

〃
該当なし

（第１７表－３）

項　目 ＼ 名　称	位　　置	揚水量（m^3/ｓ）	揚　程（m）		揚　水　機			原　動　機			備　　考
			全揚程	実揚程	型式	口径（mm）	台数（台）	型式	動力	台数（台）	

上段：変更後
下段：変更前

4．用水路

（第１７表－４）

項目 水路名	かんがい面積（ha） 事業名 用排水施設等整備	事業名 計	通水量 （m³/s）	延長（km） 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
〃 幹線管路	〃 537	〃 537	〃 0.042～1.920	9.4 7.4		9.4 7.4				
計	〃 537	〃 537		9.4 7.4		9.4 7.4				

5．その他かんがい施設

〃
該当なし

第２節　排水施設

1．排水水門

〃
該当なし

（第１８表－１）

項目 名称	位置	型式	構造	内水位（m）	外水位（m）	排水量（m³/s）	備考

2．排水機

〃
該当なし

（第１８表－２）

項目 名称	位置	排水量（m³/s）	揚程（m） 全揚程	実揚程	排水機 型式	口径（mm）	台数（台）	原動機 型式	動力	台数（台）	備考

上段：変更後
下段：変更前

３．排水路　　〃
該当なし

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名	受益面積（ha） 計	排水量（m^3/s）	延長（km） 開渠	延長（km） トンネルその他	延長（km） 計	構造	勾配	主要構造物	備考
計										

４．その他排水施設　　〃
該当なし

第３節　道路及び索道

１．道　　路

（１）　道路の総括表　　〃
該当なし

（第１９表－１）

項目 / 区分	路線名	幅(有効)（m）×延長（Km）	構造	付帯構造物 名称	付帯構造物 構造	付帯構造物 数量（箇所）	最急勾配（%）	同左の延長（m）	最小曲線半径（m）	備考
計										

（２）　道路主要構造物　　〃
該当なし

（第１９表－２）

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長（m）	箇所数（箇所）	備考

上段：変更後
下段：変更前

２．索　　道　　〃
該当なし

（第１９表－３）

項目 / 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動力	

第４節　農用地造成

１．農用地造成

（１）　抜　根　　〃
該当なし

（第２０表－１）

項目 / 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

（２）　除　礫　　〃
該当なし

（第２０表－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

（３）　開墾作業　　〃
該当なし

（第２０表－３）

区分 / 項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
計				

上段：変更後
下段：変更前

（４）　地目変換　　〃
該当なし

（第２０表－４）

項　目 区　分	面　　積　(ha)	工　　法	備　　考
計			

（５）　末端用水路等　　〃
該当なし

（第２０表－５）

項　目 区　分	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考
計				

（６）　末端排水路等　　〃
該当なし

（第２０表－６）

項　目 区　分	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考
計				

２．土壌改良　　〃
該当なし

（第２０表－７）

項　目 区　分	面　積 (ha)	石 灰 量 （ｔ）	りん酸質資材量 （ｔ）	有機質資材量 （ｔ）	備　　考
計					

上段：変更後
下段：変更前

第５節　洪水調節施設

１．貯 水 池

〃
該当なし

２．頭首工及び導水施設

（１）　頭首工

〃
該当なし

（第２１表－２）

名　称			位　　置					備　考
型　式	集 水 面 積 (km2)	堤　　高 (m)	堤　　長　　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設備	
			固 定 部	可 動 部	計			

（２）　導水路

〃
該当なし

（第２１表－３）

項　目 ＼ 水 路 名	通　水　量 (m^3/s)	延　　長　(m)			構　　造	勾　　配	備　　考
		トンネル	そ　の　他	計			

第６節　干拓施設

１．堤　　防

〃
該当なし

（第２２表－１）

項　目 ＼ 名　称	形　式	延　長 (m)	構　　造					原地盤標高（m）		備　考
			堤頂標高 (m)	盛 土 幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平　均	最　低	

上段：変更後
下段：変更前

２．潮止め　　〃
該当なし

（第２２表－２）

項目／名称	工　　法	幅　員（m）	敷高標高（m）	潮止め堤標高（m）	最大流速（m/s）	床固め構造	備　　考

３．付属施設　　〃
該当なし

４．埋　　立　　〃
該当なし

（第２２表－３）

項目／区分	面　積　(ha)	埋立標高（m）	埋立土量（m^3）	施 行 方 法	備　　考

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）　区画整理　　〃
該当なし

（第２３表－１）

工　区　名	面　積（ha）	整　地　工		表　土　扱　い		備　　考
		標準区画	土　量（m^3）	面　積（ha）	土　量（m^3）	

（２）　末端用水路等　　〃
該当なし

（第２３表－２）

項目／区分	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考

上段：変更後
下段：変更前

（３）　末端排水路等　　〃
該当なし

（第２３表－３）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考

２．暗渠排水

（１）　暗渠排水　　〃
該当なし

（第２３表－４－１）

区分＼項目	面積（ha）			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名																
			計	勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
計																	

（２）　心土破砕　　〃
該当なし

（第２３表－４－２）

区分＼項目	対象土層の厚さ（ｃｍ）	ha当たり標準除礫量（m3/ha）	面積（ha）	工法	備考
計					

３．客　土　　〃
該当なし

（第２３表－５）

区分＼項目	面積（ha）			客入土量（m^3）	土取場土量（m^3）	運搬距離（km）	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

上段：変更後
下段：変更前

4．除　　礫　　〃
該当なし

（第２３表－６）

項　目 区　分	対象土層の厚さ （ｃｍ）	ha当たり標準除礫量 （m^3/ha）	面　積 （ha）	工　法	備　考

5．農地保全

（1）　防風林　　〃
該当なし

（第２３表－７）

項　目 区　分	幅 （m）	延　長 （m）	面　積 （ha）	樹　種	植栽本数 （本）	備　考

（2）　排水路　　〃
該当なし

（第２３表－８）

項　目 区　分	延　長 （m）	流　量 （m^3/ｓ）	構　造	備　考

（3）　侵食防止工　　〃
該当なし

（第２３表－９）

項　目 区　分	構　造	数　量	備　考

第８節　ため池改修施設

１．貯水池

〃
該当なし

（第２４表）

名　称						位　置		
堤体	形　式	流 域 (km^2)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m^3)	堤頂幅 (m)	貯水量 (m^3)	備　　考
底樋	型　式		規 模 (m)	備　　考				

２．堤体補強施設

（１）　法面保護施設

〃
該当なし

（２）　漏水防止工

〃
該当なし

第６章　　附帯工事計画

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

１．工事の着手及び完了の予定時期

〃
着　　手：　令和　元　年度
〃
完　　了：　令和　９　年度

第８章　　環境との調和への配慮

〃

当地区の幹線水路は、後藤地域の主要地方道花巻衣川線東側に位置し、昭和40年代に築造後、平成10年代にパイプライン化され、水田約537haを灌漑している。地区周辺は農地のほか、森林や河川に囲まれており、岩手県レッドデータブックＢランクの種が生息している。管水路は、県道及び市道に埋設されているため、施工範囲においては希少野生動植物は特にない（「北上地区希少野生動植物調査検討委員会」R1.5.30）が、奥羽山脈を源とする和賀川や尻平川沿いに展開する水と緑豊かな自然に恵まれた美しい田園風景が広がっていることから、この魅力ある環境を損なわない配慮が必要である。
このため、工事期間中は、工事車両や施工に伴う騒音の発生が予想されることから、鳥類の巣営に影響が少ない期間で工事を実施し、騒音による生息への影響を少なくするなどの配慮を行う。

上段：変更後
下段：変更前

第９章　　換地計画の概要

〃
該当なし

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

〃
該当なし

第２節　換地区の設定

〃
該当なし

１．換地区の名称、所在、面積

〃
該当なし

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積　(ha)

２．換地区を設定する理由

〃
該当なし

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準

〃
該当なし

（第２５表－２）

換　地　区　名	地　積　の　基　準

上段：変更後
下段：変更前

２．用途別予定地積

〃
該当なし

（単位：ha）　（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前 後	非農用地区域以外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地				一般国有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令1条の9()書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公共・公共用施設用地	宅地等	計								
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地																													
合計	換地																													

上段：変更後
下段：変更前

３．農用地集団化の方針　　〃
該当なし

（第２５表－４）

区分／換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

４．非農用地の換地方法　　〃
該当なし

（第２５表－５）

区分／換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積（㎡）	換地の手法	換地取得予定者	その他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法　　〃
該当なし

２．清算の方法　　〃
該当なし

第５節　換地計画樹立の年度計画　　〃
該当なし

（第２５表－６）

区分／換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第６節　換地処分の時期に関する特則
〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第１０章　事業費の総額及び内訳

（単位：千円、％）

事業区分	事項			負担予定額 工事費	率	工事雑費・地方事務費	率	計	備考
〃 用排水施設等整備	事業費			1,750,000 1,420,000		〃 0	〃 —	1,750,000 1,420,000	令和６年度単価 平成30年度単価
	負担区分	国		875,000 710,000	〃 50	〃 —	〃 —	875,000 710,000	
		県		735,000 596,400	〃 42	〃 0	〃 —	735,000 596,400	
		地元	市町村	140,000 113,600	〃 8	〃 —	〃 —	140,000 113,600	
			農家	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	

（単位：千円）

総事業費		1,750,000 1,420,000
内訳	純工事費	1,750,000 1,420,000
	工事雑費	〃 0
	工事費計	1,750,000 1,420,000
	地方事務費	〃 0

上段：変更後
下段：変更前

（第２７表）

事業名	項目 区分	年増加見込効果額 （千円）	年増加見込所得額 （千円）	備考
〃 用排水施設等整備	〃 作物生産効果	282,905 221,689	282,905 227,447	
	〃 維持管理費節減効果	△ 1,398 △ 1,128	1,398 1,128	
	〃 災害防止効果 （農業部門）	82,631 45,591	82,631 45,591	
	〃 災害防止効果 （公共部門）	879 491	— 491	
	〃 国産農産物安定供給効果	65,144 20,199		
	計	430,161 286,842	366,934 274,657	（デットコスト　—　千円）

投資効率(B/C) ＝ 1.96 / 1.28

〈参考〉総便益額　：　11,615,962 千円 / 6,121,614 千円

上段：変更後
下段：変更前

第１２章　関連する事業

〃
該当なし

上段（　）：全体，下段本事業分　（第２８表）

区　分	事　業　名	事業主体	受益面積（ha）	事　業　内　容

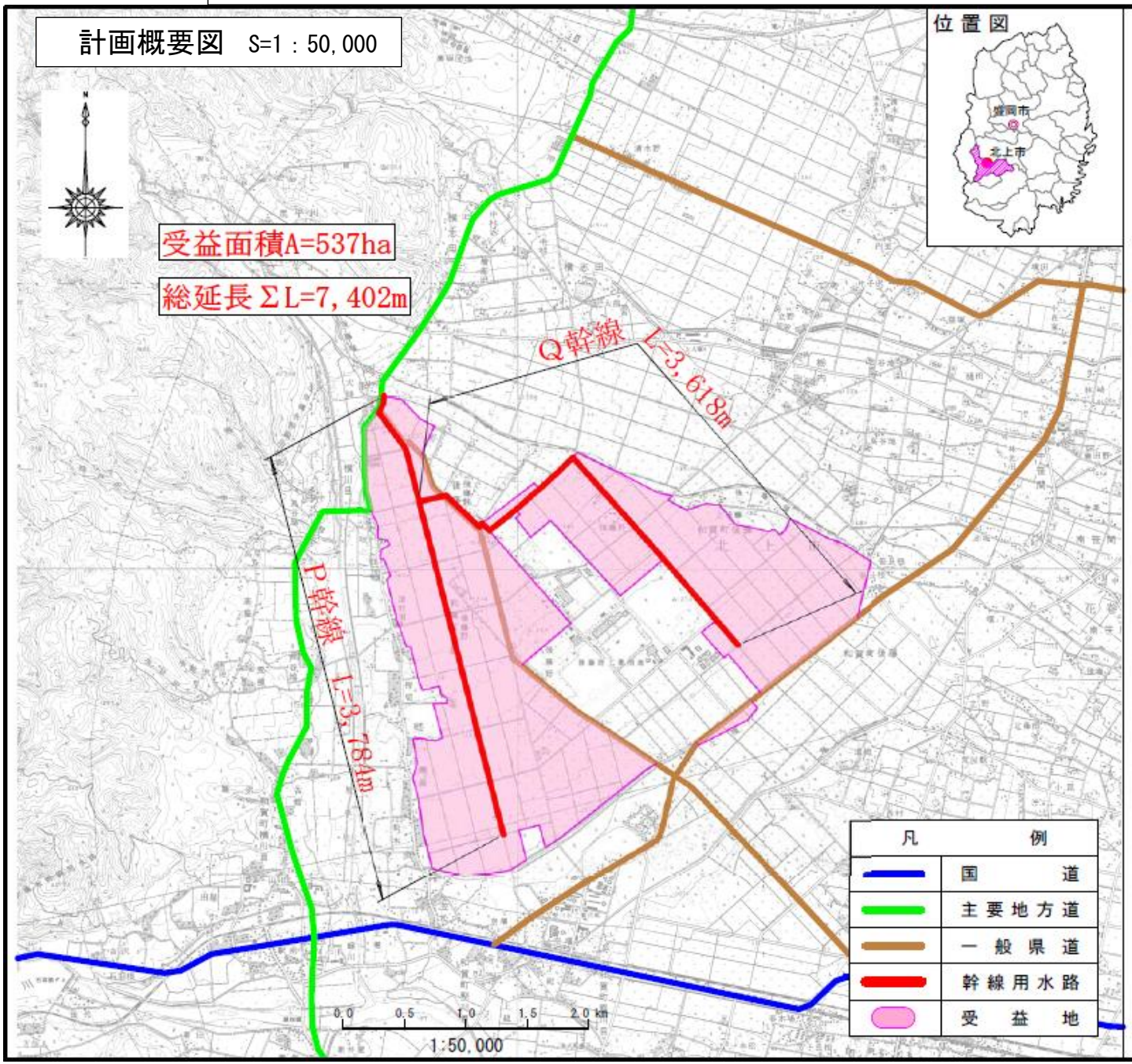
第１３章　現況・計画図面

〃
１．計画概要図　　Ｓ＝１：５０，０００

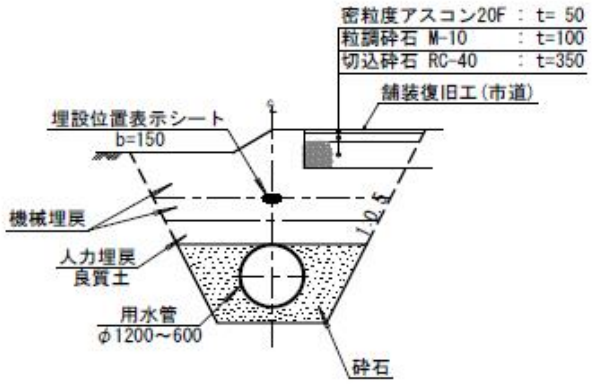
〃
２．土地利用計画図　　Ｓ＝１：５０，０００

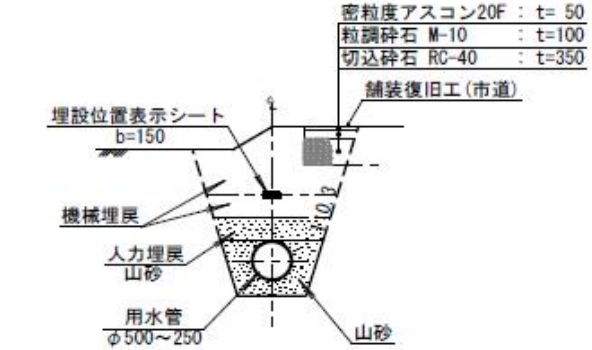
令和元年度　土地改良施設耐震対策事業　後藤横川目地区　（変更前）

計画概要図　S=1：50,000



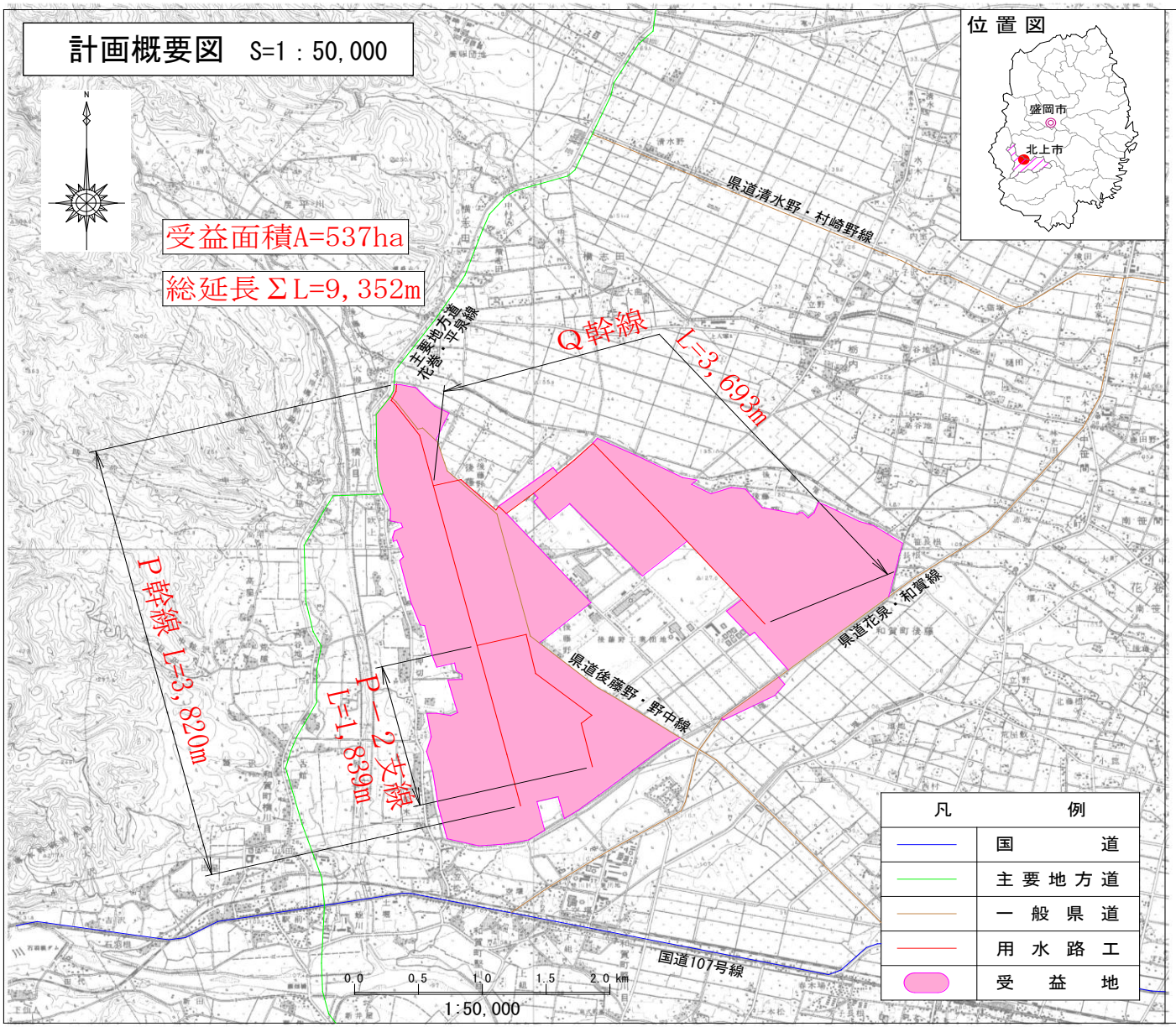
標準構造図



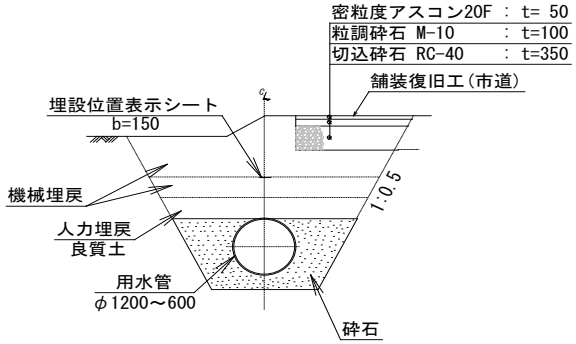


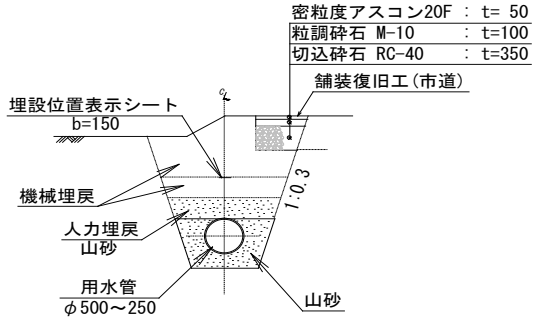
令和元年度　土地改良施設耐震対策事業　後藤横川目地区　（変更後）

計画概要図　S=1：50,000



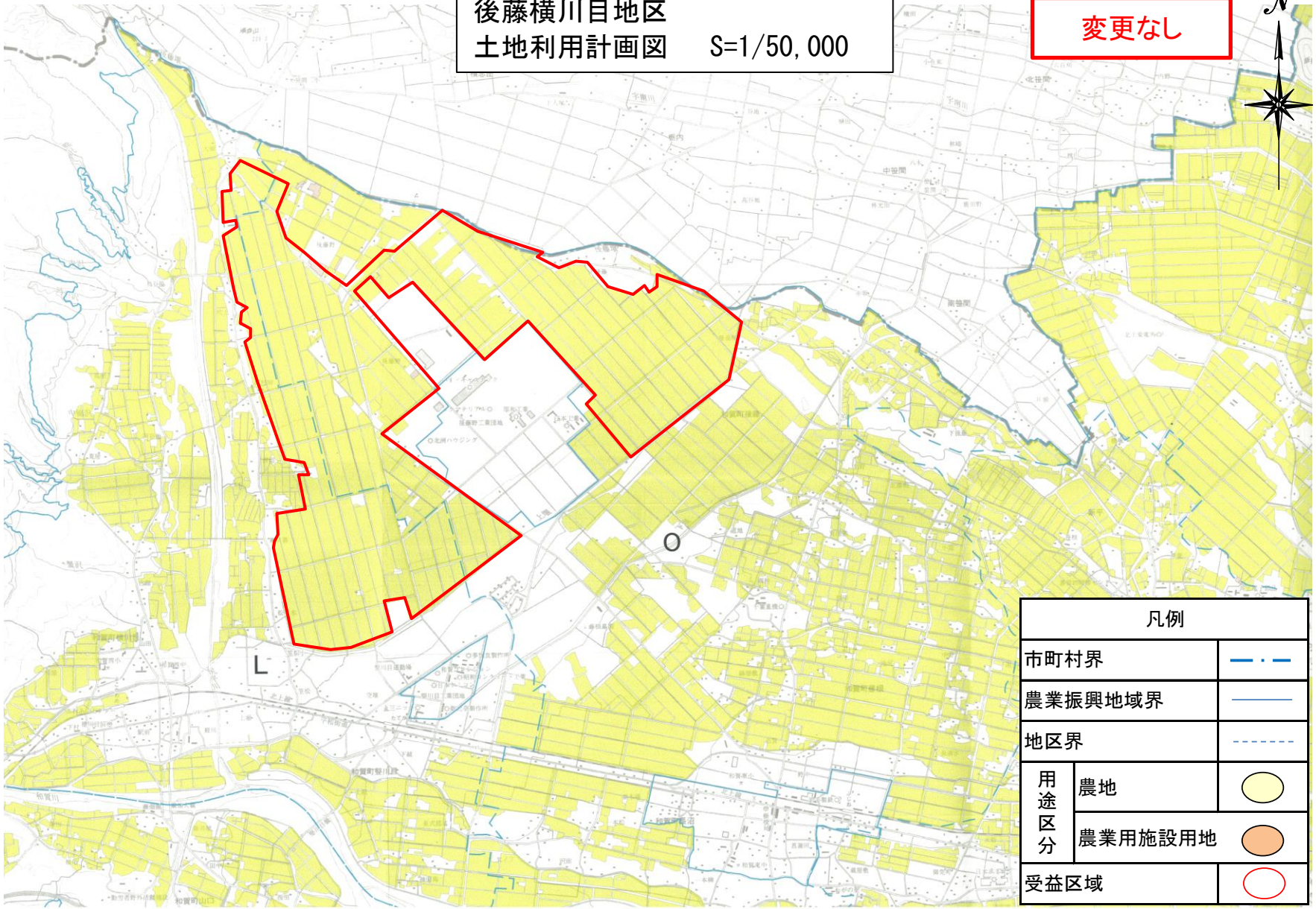
標準構造図





後藤横川目地区
土地利用計画図　S=1/50,000

変更なし



凡例		
市町村界		
農業振興地域界		
地区界		
用途区分	農地	
	農業用施設用地	
受益区域		